

子育てワンポイント 励ましのことば15

親と一緒にいる時に

「一番安心できて喜びを感じたい」

というのは、子どもの最も根源的な欲求です。

いじめ、不登校、ひきこもりなど、多くの問題の根底に人間関係の不調があります。そんな子ども達をどのように援助してゆけばいいのでしょうか。さらに親として「人とかかわる力」をどのように育ててゆけばよいでしょうか。



親としてはまず最初に、人と一緒にいて楽しかったという思いを、できるだけ数多く子供に体験させてあげることが大切です。まず親が子どもと楽しい時間を過ごすこと。親と一緒にいる時に「一番安心できて喜びを感じたい」というのは子どもの最も根源的な欲求です。その上に祖父母や近所のおじさん・おばさん、お隣やお向かい、その上で友達との関係がある。いろんな人たちとの関係が、別々のニュアンスをもって楽しい。地域社会がなくなってしまった今、より意識的にお互いが関わり合う必要があります。

戦後の民主的な自由な世の中になるにつれて、地域社会などの人間関係のしがらみから解放されたかった私たちは、個人を尊重する、健康的な個人主義を目指したのです。それは良かったのですが、どんないい生き方でも、ある一面を追及すると必ずどこかに弊害が出てきます。ある時から個人主義が行き過ぎて「利己主義」になってしまった。孤独を求めた人間が、孤独の域を通り越して、孤立するようになってしまったのです。

人が幸福に生きるのは人の幸福に貢献できたときです。ですから、地域の中で、共感しやすい、気心が通じやすい、思想、心情、趣味などが合いやすい人を見つけて、親しい交わりをしてゆくことが大切です。それは大人自身の幸せでもあるのです。

尊敬する佐々木先生の第一章を読み易く編集。教会もひとつのコミュニティ、多くの人に安心をお届けする空間でありたいです。小さい時「人と一緒にいて楽しかった！」という思い出がありますか？